

**開催概要**

名 称	第 24 回 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
日 時	令和 5 年 11 月 28 日 (火) 午後 2 時 00 分 ~ 午後 4 時 00 分
場 所	新潟市生涯学習センター 4 階 402 講座室
委 員	中村 美香 (特定非営利活動法人まちづくり学校 事業推進部 コーディネーター) ※会長 岩佐 明彦 (法政大学 デザイン工学部) 西垣 勝 (新潟日報社 企画総務局次長兼資産管理運営企画部長) 高松 智子 (ユニバーサルカラープランナー協会 会長) 高橋 邦夫 (特定非営利活動法人地域インフラ研究会 理事長) 小沢 謙一 (新潟商工会議所 理事・事業部長) 田中 雅史 (新潟市中央区自治協議会 委員) 内田 剛二 (国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 事務所長) 佐久間 なおみ (新潟市中央区 区長)
事 務 局	新潟市 (まちづくり推進課)
施設使用者	株式会社 スノーピーク

**議事要旨****■議題 1 報告事項****右岸の実施状況について (株スノーピーク) 【資料 1-1】**

- ・ 資料 1-1 についてスノーピークから報告
- ・ 売り上げは約 9,900 万円 (前年比 101%)、来場者数は約 34,000 人 (前年比 91%) であった。
- ・ 猛暑の影響で来場者数は前年より減少したが、コロナ 5 類移行により団体客 (コース利用客) が増えたことで客単価が増加したとの事。

**●委員からの主な質問・意見**

- ・ 猛暑の影響で、来場者数が減少したとのことだが、例えば、夜の営業時間の延長や 10 月くらいまで営業するなど検討されたい。
- 夜 10 時以降は公園が使用できない。9 月下旬になると夜は冷え込んでくるため営業に適しているか検討が必要。また、10 月は社内での備品の調整があり、現状は営業していない (SP)。
- 10 月上旬には、新潟マラソンや食花マルシェ、古町どんどんなど各地でイベントが開催されるのでそういった点でも 10 月までの延長は検討していきたい (事務局)。
- ・ SNS のフォロワー数は増えているが、発信回数は減っている。どンドン情報は発信されたほうが良い。また、来年もインバウンド客が増えると感じているので外国語発信などより力を入れたほうがよい。
- ・ 一店舗当たり月 500 万円の売り上げというのはすごいことだと感じているし期待している。中央区の自治協でも情報を発信していただくなど活用いただきたい。

## ■議題1 報告事項

右岸の取組報告について（新潟市） 【資料1-2】

左岸の取組報告について（新潟市） 【資料1-3】

取組成果の分析と総括（新潟市） 【資料1-4】

- ・資料1-2、1-3、1-4について事務局（新潟市）から説明。
- ・左岸の取り組みについて引き続き来年度も継続する。
- ・右岸（水辺アウトドアラウンジ）についても、より一層の利活用が進んでいくことを期待する。

### ●委員からの主な質問・意見

- ・左岸の取り組みについて、「公園区域を使う場合、別途協議となっていることが利活用の障壁となっている」とのことだが、対応を検討されたい。
- ・アンケート結果で「居心地の良さ」の評価が高いが、例えば「昼と夜の別」や「なぜ居心地が良いと感じるのか」が分かると今後の事業に繋がっていくのではないか。
- ・今年度の新規出店者が0（ゼロ）だったことからマンネリ化が懸念される。広く出店者募集をするなどブレイクスルーが必要と感じる。

## ■議題3 今後のスケジュール 【資料2】

- ・資料2について事務局（新潟市）から説明

### ●委員からの主な質問・意見

- ・特筆すべし事項なし

## 会議資料

資料1-1	実施報告書（SP）	資料1-2	右岸の取組報告（新潟市）
資料1-3	左岸の取組報告（新潟市）	資料1-4	取組成果の分析と総括
資料2	今後のスケジュール		
別紙①	利用者アンケート結果（右岸）	別紙②	出店者アンケート結果（右岸）
別紙③	マネジメント事業者評価シート		